

害獣退却超音波発生装置「アニマルストップ」

大阪ツーワイ

ユーザー通信

奈良発

大阪ツーワイ(大阪府岸和田市)の害獣退却超音波発生装置「アニマルストップ」は、周波数が10、65分の可聴音波から超音波までの多重音波を出し、害獣を寄せ付けずに農作物を守る。畑や水田に簡単に設置でき、音波のスピードを周期的に変えることで害獣の慣れを防ぐ。100時間の電源を取れない場所でも、バッテリー使用や太陽光発電充電セットとの組み合わせで利用できる。

松窪 敬憲 さん(水稲・野菜栽培)



音波で被害軽減 簡単に設置可能 電源操作が面倒

奈良県宇陀市の松窪敬憲さん(64)は、水稲を1.2畝、露地野菜を1.2畝で栽培する。3年前から鹿やイノシシの出没が目立つようになり、特にダイコ

ン、カブ、ナス、エンドウ、のダイコン畑に設置したのう。キウリなどの畑が荒れ、収穫できないほどの被害を受けることもある。松窪さんはこれまで、電

松窪さんによると、侵入経路の山に向けて設置するのがポイント。ダイコン畑には2台設置した。周波数をダイヤル(目盛りは10個)で調節し、通常は目盛り5(17、25分)にセッティングしている。おかげで畑に入った足跡も見られず、被害がなかったと喜ぶ。松窪さんの知人で、同市で水稲と野菜を営む松井清さん(75)も、昨年の水稲収穫期に「アニマルストップDC12」を10坪の田んぼに3台、試験的に設置した。松井さんは「これまでコンバインで刈れないほど稲穂が踏みつぶされたが、設置した田んぼには足跡もなかった」と、効果に驚く。



別売りの太陽光発電の充電セットとつないだ「アニマルストップ」

▶「アニマルストップ」超音波多重周波数で害獣を撃退する装置。交流電源(AC)と直流電源(DC)の二つのタイプがある。「AC100」は9万9750円、「DC12」は15万7500円。別売りの太陽光発電充電セットが29万4000円。バッテリー充電器が3万9900円。問い合わせは大阪ツーワイ、072(444)6768。



「アニマルストップ」で害獣を撃退する松窪さん(奈良県宇陀市で)

タイマー検討

電源の入力、解除の操作を楽にするため、本機内にセルフタイマーを内蔵し、返信する機能を検討しています。本体に複数のスピーカー(別売り)を添付し、撃退効果を広範囲に広げる方法もあり、コストの話

返信

除網など併用すれば、害獣防

トダウンになります。地域によっては太陽電池やバッテリー充電器などの周辺機器の活用も可能です。本装置を電気柵や防